

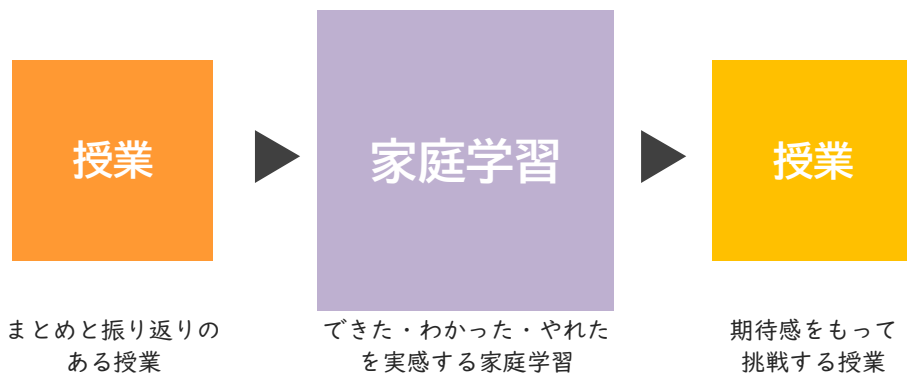
令和5年度版

ー理解・共有/定着/深化のスパイラルー

川越市小・中学生学力向上プラン

【家庭学習版】

授業と授業をつなぐ家庭学習



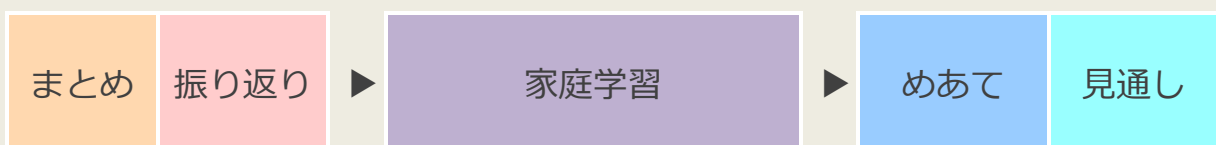
川越市小・中学生学力向上プランで示す学びの本質を具現した「川越授業スタンダード」は、子どもの問題意識から始まり、対話・協働して学び、学んだことが一人一人の子どもに帰り、自身で学んだことを確実にしていく学習の方法と過程です。

【家庭学習版】は「川越授業スタンダード」を補完、発展するものです。学びの過程で生まれてきた新たな疑問や興味・関心、自信や期待をもとに家庭学習を行うことで、子どもたちの学びを広げたり深めたりすることができます。

川越市小・中学生学力向上プランの理解・共有、定着、深化を新たな視点で推し進める授業と授業をつなぐ家庭学習に挑戦してみませんか。

「自己調整力」を高める家庭学習

家庭学習は児童生徒自身が自らの学びをコントロールする力（自己調整力）を向上させます。学びをコントロールする力（自己調整力）を効果的に向上させるには、授業中の「振り返り」を通じた自己モニタリング（自分の学びを自分で客観視すること）が重要です。



■ 「できた・わかった・やれた」を実感する家庭学習

学びの中で子どもが感じる「できた・わかった・やれた」という達成感や成 sense は、子どもが自らの学びを広げたり深めたりしていく原動力となります。相互に影響し合う授業と家庭学習を実施することで、様々な学びの場面で子どもに「できた・わかった・やれた」という実感をもたせることを目指しましょう。

まとめ

「まとめ」は、学び合ったことを整理し、確認します。

- 本時の学習で学んだ内容を明確にしましょう。

振り返り

「振り返り」は、子ども各自の学びの捉え直しです。

- 自己モニタリング（自分の学びを自分で客観視すること）と自己コントロール（授業に合わせて自分の学びを調整すること）を通して自らの課題や強みを自覚・実感させましょう。
- 学びを通して抱いた児童生徒の興味・関心を大切にしましょう。
- 次回以降の授業へのつながりを意識させましょう。

家庭学習

「家庭学習」は、3つの力を育む機会です。

■ 知識及び技能の定着を図る家庭学習

授業の「まとめ」に関わる内容の定着に向けた補完的、発展的な位置付けとして、児童生徒が知識及び技能の定着に向けた習熟を行います。

■ 思考力・判断力・表現力等を育む家庭学習

《復習タイプ》

児童生徒の「振り返り」を基に、児童生徒自身が苦手意識をもっている内容や強みにしたい内容について、児童生徒が自らの選択の下、復習を行います。

《予習タイプ》

次回以降の授業の「めあて」に関わる内容について、児童生徒自身が自らの考えをまとめ、次回以降の授業に「見通し」をもてるよう自らの選択の下、予習を行います。

■ 学びに向かう力を育む家庭学習

学習した単元に関連する発展的な内容や探究的な内容について、児童生徒が興味・関心をもって取り組むことで学びに向かう力の育成を図ります。

めあて

「めあて」は、本時の学習の確認です。

- 子どもたちの家庭学習をきっかけに「めあて」につながる疑問や問題意識を引き出すことができます。
- 授業内容に関連する家庭学習への取組を称賛し、授業に対する意欲を高めることができます。

見通し

「見通し」は、本時の学習の予測であり、学習に対する可能性や期待感を高めます。

- 本時に関係した家庭学習を行うことで、家庭学習でもった考えを基に、できそうだという期待感を高めたり、方法を見通したりすることができます。
- 家庭学習で定着を図った知識及び技能をどのように生かすか問いかけることで、家庭学習と授業とのつながりを意識させることができます。

■ 知識及び技能の定着を図る家庭学習

授業で学んだ内容を明確にして、身に付けるために時間が必要な内容については、家庭学習を通して定着を促しましょう。

【例題】

- 算数・数学 … 計算問題・証明問題に取り組む。
- 国語 … 漢字・慣用句・熟語を調べる。
- 英語 … 単語・定型句を覚える。
- 音楽 … 演奏の練習をする。
- 体育 … 体力を高める運動をする。

【知識及び技能の定着を図るポイント】

「何分間机に向かう」や「1日にノート何ページ分進める」といった目標だけでなく、本時の学習内容を児童生徒とよく共有し、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」という身に付けるべき内容を明確にしましょう。

■ 思考力・判断力・表現力等を育む家庭学習

《復習タイプ》

児童生徒が自身の課題を解決したり強みを伸ばしたりするために練習問題に取り組んだり、ノートや学習者用コンピュータに考えをまとめたりする家庭学習を促しましょう。

【例題】

- 理科 … (苦手と感じたから) 授業中にうまくまとめられなかった考察を書き直す。
- 家庭科 … (得意と感じたから) 授業で習った栄養素が他にどんな食品に含まれるか考える。
- 技術・家庭科 (家庭分野) … (苦手と感じたから) 授業中に戸惑った回路について、もう一度、図に表す。
- 技術・家庭科 (技術分野)

《予習タイプ》

児童生徒が次回以降の学習内容について、調べたり、自分の考えをノートや学習者用コンピュータにまとめたりする家庭学習を促しましょう。

【例題】

- 道徳 … 資料を読んだ感想をまとめる。
- 社会科 … 資料から気付いたことをまとめる。
- 生活科 … 家事にはどんな種類があるか調べる。

【思考力・判断力・表現力等を育むポイント】

児童生徒自身に、自身の強みや課題を意識させることで、目的意識をもった家庭学習にしていきましょう。また、授業のめあてや見通しの場面で取り上げることで、授業へのつながりを意識させましょう。

■ 学びに向かう力を育む家庭学習

児童生徒がさらに学びたい、知りたいと感じた事柄について、興味・関心を基にテーマを設定し、より発展的・探究的な内容について調査したりまとめたりする家庭学習を促しましょう。

【例題】

- 総合的な学習の時間 … より専門的な内容について探究し、まとめる。
- 図画工作・美術科 … 授業で学習した技法を用いて新たな作品作りに挑戦する。

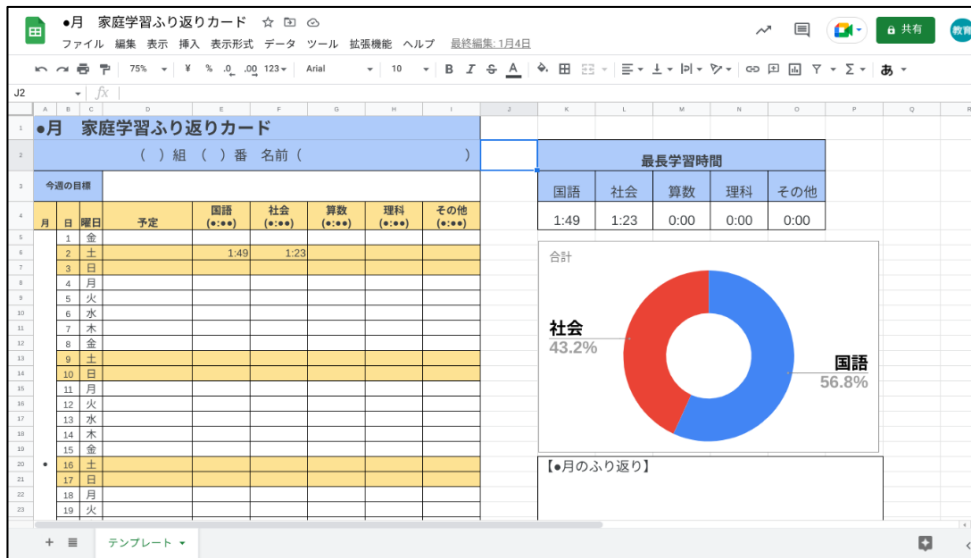
【学びに向かう力を育むポイント】

児童生徒の授業で抱いた自発的な興味・関心を大切に、同一のテーマだけでなく、主体的に発展的・探究的な学びを行うことを推奨していきましょう。また、児童生徒がまとめた内容等を授業で生かすことを通して、児童生徒の達成感を高めたり、学び方の共有につなげたりしていきましょう。

■ 家庭学習における振り返り

家庭学習においても、自己診断を積み重ねる経験が、子どもを成長させ、次の学びへとつながり、学習内容の定着や学びに向かう力が高まります。

● 家庭学習ふり返りカード（学習者用コンピュータ）



出典: Google for Education (2021年)「はじめよう!これからの家庭学習」
https://services.google.com/fh/files/misc/gfe_homestudy.pdf

《特徴》

- 学習者用コンピュータに家庭学習で取り組んだ時間を入力することで、学習した時間が教科ごとにグラフ化される。
- 教師は、児童生徒の取組状況をいつでも見ることができる。
- 学校ごとに編集し、生活記録表(3行日記)や音読カードなどの記録シートを兼ねることができる。

《期待される効果》

- 児童生徒が客観的に自分の学習を振り返ったり、事前に予定した計画と比較したりすることができるようになる。その結果、次からはどのように学習をしていくか児童生徒が自分自身で考えることができるようになる。
- 学びの履歴をもとに教師がコメントを送ることで、児童生徒の個々の状態に応じた学びの支援をすることができるようになる。

ICT活用は家庭学習の効果を高めることが期待できることから、授業中と同様に家庭学習でもICTを工夫して活用しましょう。

家庭学習の効果的なテンプレートは右のQRコードからダウンロードできます。

(例) 学習時間記録シート・調査シート・短時間復習シート 等



e-授業テンプレート集

新たな3年間へ「理解・共有/定着/深化のスパイラル」

学びは
一人一人の子どもの中に成立します
自分から始まり学び合いを通して自分に帰ります

授業は
一人一人を成長させる営みです
知識・技能を身に付け資質・能力を育成し
一人一人の学びを深化させます